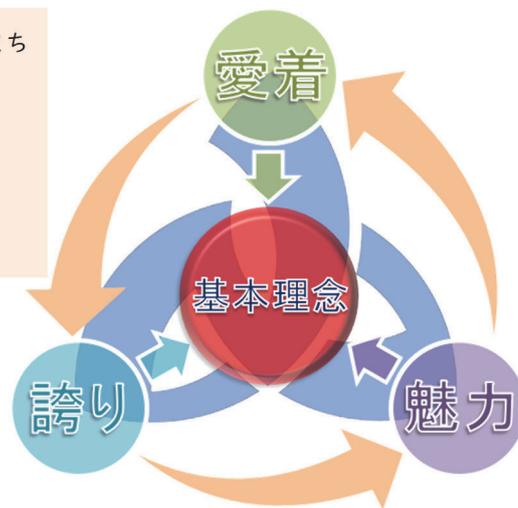


### 3 まちづくりの基本理念

まちの将来像である「ひとがきらめき まちが輝く オアシス都市 あきふちゅう」を実現するために、以下に示す基本コンセプトを踏まえた基本理念を設定します。

- いつまでも安心して住み心地のよい「**愛着**」が持てるまち  
【府中町の良さを実感】
- 府中町に暮らすことに「**誇り**」が持て自慢できるまち  
【府中町の良さを発信】
- 誰もが住んでみたいと思う「**魅力**」があるまち  
【府中町の良さで人を引き寄せる】

以上の3つの言葉が、互いに機能し合い、相乗効果を生むことによって基本理念に向かいます。



#### 基本理念

商工住のバランスを保ち、  
次世代へ元気をつなげるひととまち  
～住んでよかった、住んでみたいまちづくり～

#### 【主旨】

『商工住のバランスを保ち、次世代へ元気をつなげるひととまち』とは、当町の特長である商業・工業・住宅のバランスによって創出された活力と賑わいを保ちながら、さらに質の高い住環境を目指し、人口減少社会でも“府中力”を発揮し、“ひとが元気! まちが元気!”を次世代へつないでいくものです。

“ひとが元気!まちが元気!”とは、愛着があり誇れる魅力あるまちで、人が賑わい活気に満ちあふれている姿を表します。

“府中力”とは、商工住のバランスのとれたまちづくりのエンジンとなる人(ひと)を集めるために当町が持っている魅力を総称して表したものです。

その魅力とは、安芸の国府が置かれていたことに起因する各種歴史、文化遺産、広島都市圏<sup>\*</sup>内という立地環境や良好な交通アクセス網によりもたらされる利便性、また町の北東部を中心に豊かに残されている自然などがその代表としてあげられます。

～住んでよかった、住んでみたいまちづくり～とは、都市生活に必要な機能が整備されているとともに、近隣都市など、他都市に住んでいる人が「住んでみたい」と思い、現在住んでいる住民が誇りを持って「住み続けたい」と思えるまちを住民と行政が協働して築いていくことです。

本文中、<sup>\*</sup>印のある言葉は、第4編「参考資料」の「6 用語解説」に掲載しています。